

	公表	事業所における自己評価総括表
--	----	----------------

○事業所名	こども通所支援事業所おおぞら			
○保護者評価実施期間	2025年 1月 20日 ～ 2025年 2月 21日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	65	(回答者数)	38
○従業者評価実施期間	2025年 1月 20日 ～ 2025年 2月 21日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数)	13
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 4月 8日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・移行支援や情報共有のしやすさ、事業所同士の横のつながりが強く連携のしやすさがある。	・幼児教室等にも参加し、先々を見据えた支援を行っている。	・保育所等訪問支援事業を行っていく。
2	・研修機会が充実しており、職員の専門性の向上や支援の質の向上につなげることができる。	・職員それぞれに合った研修案内が多く行われており、職員間で協力しながら時間を確保し、参加の機会を設けている。また、会議や回覧等を通して、職員全体へ研修内容の共有も行っている。	・個人で興味関心のある研修についても、職場全体の理解や協力のもと参加ができるような仕組みが整っている。個人が「この研修に参加してみたい」と積極的に声を上げていき、より一層の研修参加の充実とスキルアップにつなげていく。
3	・お子さんやご家族の困り感に応じて、随時面談の機会を設けてご相談に応じたり、ペアレントサポート等の家族支援のための機会を案内・提供している。	・毎年度、年間のペアレントサポート講座のご案内をしているほか、心理士による相談の案内をするなどしている。	・平日では都合が付かず、講座や見学会に参加したいがなかなかできない、というご家族もいらっしゃる。講師や見学先の都合等といった課題も検討しながら、できるだけ土曜日や祝日も活かせるような工夫を図っていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・部屋の広さの問題や、バリアフリー対応ではない部分があったりと、ハード面での課題がある。	・児童発達支援から放課後等デイサービスへの切り替えのため設備が不十分であったり、利用児の増加などが考えられる。	・既存の資源の活用や、職員の工夫と配慮で安全に過ごせるよう取り組んでいる。
2	・SNS等をさらに活用していくことが課題。	・LINEの利用規約等の変更により利用が出来ないままになってしまっていて、チラシやHP等での配信がメインになってしまっていた。	・改めて、LINEの活用をスタートさせて周知している。 ・SNSアカウントを利用して、日々の活動など発信していけると良い。 ・ホームページ(ブログ)に活動の様子を載せて、ご家族だけでなく関係機関や地域の人たちにも事業所の取り組みについての理解に繋げていく。
3	・障がいや特性が様々なお子さんをお預かりしているので、グループによっては外出する機会が少ない。	・職員配置は満たしているが、お子さんの安全面を考慮すると、中々外出する機会を作ることが難しい。	・少人数制での外出や事業所内で実施できるイベントやレクリエーション、出張型イベント等を企画していく。